



平成 29 年 5 月 19 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

**「第 18 回 防災文化講演会」開催のご案内**  
**テーマ：気仙沼で 3.11 を伝えていく**

このたび、東北大学災害科学国際研究所は気仙沼市内にて、「気仙沼で 3.11 を伝えていく(震災伝承)」をテーマに、第 18 回防災文化講演会を下記のとおり開催いたします。

当研究所は、平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、同年 10 月には気仙沼分室(通称:気仙沼サテライト)を気仙沼市内に設置し、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでまいりました。防災文化講演会はこのたび 18 回目となりますが、今回も、市民の皆様との情報交流の機会として開催いたします。

つきましては、ご多忙中と存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。なお、取材にあたっての事前申し込みはご不要です。

記

1. 日時：平成 29 年 5 月 27 日(土)13 時 00 分～15 時 50 分(開場:12 時 30 分)
2. 会場：気仙沼中央公民館 (気仙沼市魚市場前 1-1)
3. 主催：東北大学災害科学国際研究所  
共催：気仙沼市(申請中)

4. 趣旨：

東北大学災害科学国際研究所と気仙沼市のさらなる協力関係の強化と情報交流のため、本研究所が推進する防災・減災に関わる最新の調査・研究の成果に基づく災害科学情報を、気仙沼市や近隣にお住まいの方々ならびに関連する活動を実施されている方々に向けて発信する。



5. 対象： 一般向け(参加申込 不要)

6. 次第：

開会挨拶(13:00～13:05)

東北大学災害科学国際研究所 教授 川島 秀一

話題提供(13:05～15:15, 30分×4)

(1) 気仙沼における現在の 3.11 の伝承

気仙沼観光コンベンション協会 誘致推進課長 熊谷俊輔氏

(2) 気仙沼におけるこれからの 3.11 の伝承

気仙沼市震災復興・企画部 震災復興・企画課 主査 尾形庄衛氏

(3) 宮城県における現在の 3.11 の伝承

東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤翔輔

(4) 先進事例における現在の震災伝承

中越防災安全推進機構長岡アーカイブセンターきおくみらい

研究員 山崎麻里子氏

質疑応答・会場討論(15:15～15:45)

コメンテーター：東北大学災害科学国際研究所 教授 川島秀一

コーディネーター：東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤翔輔

質疑応答・ディスカッション(15:45～15:50)

閉会挨拶 気仙沼市危機管理課

※なお、本講演会は、日本学術振興会 課題設定による先導的人文学・社会科学  
研究推進事業・実社会対応プログラム「効果的・持続的な災害伝承を目的にした拠  
点構築手法のモデル化と実践的研究」(研究代表者：佐藤翔輔)による一部助成を  
受けています。

**【問い合わせ先】**

東北大学災害科学国際研究所 気仙沼分室  
ワーキンググループ (担当・佐藤翔輔)

Mail : kesenuma@irides.tohoku.ac.jp

TEL: : 022-752-2140